

さかいまち 議会だより

No. 184

平成30年8月1日発行

編集発行・茨城県境町議会
広報編集委員会
〒306-0495 境町391-1
TEL. 0280-81-1316
FAX. 0280-87-5873
ホームページアドレス
<http://www.town.sakai.ibaraki.jp>



平成30年度二市一町合同水防演習

目次

平成30年第2回定例会議決事項

定例会審議結果…………… P 2

一般質問…………… P 3～5

議会活動…………… P 6～8

平成30年第2回定例会

6月18日～6月22日（5日間の会期）

全議案・原案可決

報告

○平成28年度境町一般会計
予算事故繰越し繰越計算
書について

○平成29年度境町一般会計
予算繰越明許費繰越計算
書について

○平成29年度境町公共下水
道事業特別会計予算繰越
明許費繰越計算書につい
て

発議

○境町との友好関係樹立に
向けた、「境町の日」の
制定に関するホノルル市
議会の決議に謝意を表す
るとともに、ホノルル市
との友好都市提携に向け
た取組の推進を求める決
議案について

平成30年第2回定例会審議結果

議案番号	議案名	議決年月日	議決結果
議案第38号	境町職員の公益的法人等への派遣等に関する条例の制定について	H30.6.22	原案可決
議案第39号	境町友好都市交流基金条例の制定について	H30.6.22	原案可決
議案第40号	境町定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の制定について	H30.6.22	原案可決
議案第41号	境町税条例等の一部を改正する条例案について	H30.6.22	原案可決
議案第42号	境町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例案について	H30.6.22	原案可決
議案第43号	境町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案について	H30.6.22	原案可決
議案第44号	境町定住促進住宅の指定管理者の指定について	H30.6.22	原案可決
議案第50号	工事請負契約の締結について	H30.6.18	即日原案可決
議案第51号	工事変更請負契約の締結について	H30.6.18	即日原案可決
議案第52号	事業契約の締結について	H30.6.18	即日原案可決
議案第53号	町道路線の認定について	H30.6.22	原案可決
議案第54号	町道路線の変更について	H30.6.22	原案可決
議案第55号	町道路線の認定について	H30.6.22	原案可決
議案第56号	町道路線の変更について	H30.6.22	原案可決
議案第57号	境町教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	H30.6.22	即日原案同意
陳情第1号	「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の陳情書について	H30.6.22	継続審査

補正予算

平成30年度境町各種会計補正予算

会 計		予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計		113億4,433万円	6,718万9,000円	114億1,151万9,000円
特別 会計	国民健康保険事業	31億6,200万円	△37万8,000円	31億6,162万2,000円
	後期高齢者医療事業	4億5,470万円	9万5,000円	4億5,479万5,000円
	公共下水道事業	9億8,600万円	1億6,461万9,000円	11億5,061万9,000円
	農業集落排水事業	2億2,760万円	500万円	2億3,260万円

一 般 質 問

1 番 議席10番 田山 文雄 議員

- (1)児童虐待の防止について
- (2)特定健診の取り組みについて

2 番 議席5番 櫻井 実 議員

- (1)防災・減災対策について
- (2)児童発達支援について
- (3)防犯対策について

3 番 議席3番 相良 昌宏 議員

- (1)ホストタウンについて
- (2)熱中症対策について

4 番 議席1番 鈴木 英明 議員

- (1)学校教育について

4人の議員が登壇しました

議席10番

田山 文雄 議員



児童虐待の防止について

Q 児童虐待による悲しい事件が発生し、大きな社会問題になっているが、当町における取り組み、今後の課題について伺いたい。

A 平成29年度における筑西児童相談所管内の児童虐待相談件数は433件で、虐待の内訳として、心理的虐待が246件、身体的虐待が101件、ネグレクトが71件、性的虐待が15件となっている。

相談があった場合、発生状況や児童の安否確認、保護者との面談を行い、児童の保護が必要と判断される場合には、児童相談所と連携し、一時保護等の必要な措置を講じている。

(福祉部長)

特定健診の取り組みについて

Q 当町において、健康推進のために先進的な取り組みが行われている。更に特定健診受診率の向上が必要であると思うが、当町の取り組みについて伺いたい。

A 特定健診では健診日等について日時指定により町施設で行っているが、受診率向上のため年間計25日の健診日のうち5日を土日に実施している。更に、町と提携している医療機関での受診等も実施することにより受診者への負担軽減に努めている。

今後は、更なる受診率向上のために、広報紙や町民祭等の各種イベント時における啓発活動の徹底に努めていく。

(福祉部長)

Q 胃癌のリスク軽減のためにもピロリ菌の検査を導入すべきと思うが、町の考えについて伺いたい。

A 1,000円から1,500円を受診者に負担して頂き、ピロリ菌検査を含めたがん検診を検討していきたい。

(福祉部長)

議席5番

櫻井 実 議員



防災・減災対策について

Q 「広域避難行動計画作成に関する調査研究」成果に対する今後の取り組みについて。

A 研究結果を踏まえ、広域避難にかかる経路や体制、避難所確保に向けてアンケート結果を分析し、本年度末を目途に地域ごとの広域避難計画を策定したい。

(理事兼防災安全課長)

Q 要配慮者名簿作成に伴う支援体制について。

A 対象者1, 215名の方に対して回収率60%、46%の方に同意を得た。行政区や民生・児童委員等と連携しつつ防災訓練などにより支援体制の強化に努めたい。

(理事兼防災安全課長)

境町防災アプリ
『インフォ境(仮)』を6月から導入開始

Apple 製品 (iphone 等) 用 QR コード



Android 製品 (Galaxy 等) 用 QR コード



Q 防災アプリ「インフォ境」導入の周知徹底策について。

A 平成34年11月以降、電波法の改正により現行の防災行政無線が使用できなくなることから、代替えとして立教大学と共同連携して研究を進めてきた。あらゆる機会を通じて周知徹底を図りたい。

(理事兼防災安全課長)

児童発達支援について

Q 本町に就学前児童の発達支援センターを開設すべきと思うが取り組みについて。

A 県内では土浦市、古河市で開設している。乳幼児期は子どもの生涯にわたる人間形成にとつて重要な時期であることから関係機関と協議しながら検討したい。

(福祉部長)

防犯対策について

Q 防犯カメラの設置の現況並びに今後の対策について。

A 今年度、児童の安全を優先し通学路などに設置する新規分を合わせ、計59か所で防犯カメラを運用する。今後、100台を目標に設置を進め犯罪抑止力に万全を期したい。ドライブレコーダーの導入は、調査・研究し検討したい。

(町長・理事兼防災安全課長)

議席3番

相良 昌宏 議員



ホストタウンについて

Q 東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプに向け施設等の整備を含め、今年度の町の取り組みは。

A アルゼンチンオリンピック委員会委員を7月の花火大会に招待し、10月にアルゼンチンで開催される第3回夏季ユースオリンピックに町長が訪問を予定している。また、日本アルゼンチン協会主催の交流ジュニアサッカー大会への参加も検討している。施設は、テニスコートをオリンピック基準に適合するよう整備する予定である。

(秘書公室長)

Q ホストタウンとして、アルゼンチン共和国との友好交流は。



事前キャンプ誘致に向けたナショナルトレーニングセンターの視察

A 10月下旬に長田小学校のアルゼンチンの日の集い、11月17日の日垂修好120周年記念イベントとしてタンゴイベントを予定している。

(秘書公室長)

熱中症対策について

Q 小中学校における熱中症対策は。

A 全小中学校の教室にエアコンを完備し、各学校に県教育委員会からの「熱中症事故の防止について」、環境省からの「熱中症環境保健マニュアル2018」を配布し指導している。また、水筒持参による十分な水分補給や、健康管理について保護者への理解啓発を図っている。

(教育次長)

Q 中学校での部活動での熱中症対策は。

A 養護教諭による、部活動における熱中症予防講習などを行うと共に、適切な活動時間の管理、休憩時間の設定や、こまめな水分補給等の指導を行っている。

(教育次長)



議席1番

鈴木 英明 議員



学校教育について

Q 中学校における部活動の現状について。

A 境第一中学校では運動部10種目17部に合計288名が在籍している。文化部では3部97名が在籍し、合計385名となり部活動の在籍率は88.1%である。

境第二中学校では運動部6種目8部に152名、文化部では2部に65名、合計217名となり在籍率は100%となっている。現在境一中において、将棋部が休部となっており、境二中では柔道部が休部、野球部が廃部となっている。

(教育次長)

Q 地域のスポーツクラブ等との連携や外部指導者の活用について。

A スポーツクラブに所属している生徒数は両校合わせて50名であり、一部は部活動にない種目のクラブに所属している。外部指導者については、5名の保護者等にボランティアとして協力していただいている。生徒減少期にあつて、生徒のニーズを踏まえた部活動設置のあり方や外部指導者としてのボランティアの活用など、県内外の先進自治体の取り組みを踏まえ、今後の研究課題と考えている。

(教育次長)

Q 県内において小中一貫教育学校が増えてきているが、当町の考えについて。

A 町で力を入れている英語教育において小中学校の英語教育推進の中核となる教員などで構成する境町英語活動推進委員会を設置し、小中学校9年間の連続性を持ったカリキュラムの構築を目指すなど小中一貫の取り組みを進めている。

(教育次長)

議会活動

アルゼンチンオリンピック委員会との覚書締結式

4月9日にアルゼンチンオリンピック委員会との視察団責任者エドワード・モヤノ氏、ディエゴ・ガスマン氏、ディオゲネス・デ・ウルキザ・アンコレナ氏、並びに駐日アルゼンチン特命全権大使であるアラン・クラウディオ・ペロー閣下が境町役場に来庁され、境町とアルゼンチンオリンピック委員会において、事前キャンプを境町で行うため、共に協力していく内容の覚書を締結しました。

アルゼンチン共和国との交流は、80年にも及ぶ長田小学校との良好な関係から生まれたものです。駐日アルゼンチン大使を迎え、毎年盛大に開催される「アルゼンチンの日の集い」、小学校6年生による「アルゼンチン大使館訪問」等すばらしい交流を続けてきました。今後とも町をあげてこの素晴らしい交流を深めていくことを議会としても応援してまいります。



アルゼンチンオリンピック委員会と境町において覚書が締結されました

マリキナ市創立祝賀記念式典

4月16日に開催された、フィリピン共和国マリキナ市の38回目にあたる創立祝賀式典に参加してまいりました。

式典では、境町から消防車両が寄贈され、会場に集まった多くの市民から歓声があがりました。

今後、姉妹都市として英語教育に限らず、様々な面で互いに協力し、より一層友好関係を深めるため議会としても協力してまいります。



マルセリーノ・テオドロマリキナ市長を訪問

ハワイ州ホノルル市境町ウィーク

昨年に引き続き、本年も6月4日にハワイ州ホノルル市において開催された「境町ウィーク」への参加、並びにホノルル市内の環境管理施設、語学学校の視察をしてまいりました。

「境町ウィーク」ではハワイ最大級の花火大会をワイキキビーチにて催したことから、大変な賑わいとなりました。

ホノルル市において実施した研修では、オアフ島各地の収集所から集められたゴミを高熱で焼却し、その蒸気によってオアフ島における電力の7%を供給している市最大のクリーンセンター『HPOWER』、高品質の英語プログラムを第二言語として英語を学ぶ学習者へ提供している『ICCハワイ』を視察させていただきました。ホノルル市議会では、本年6月1日に境町との友好関係樹立に向け6月4日を「境町の日」に制定する決議を全会一致で可決していただきました。



アーネスト・マーティンホノルル市議会議長へ宣言書を手渡しました

この決議は大変意義深く、議会としても心から謝意を表するものであります。

この決議を受け、境町議会では、第2回定例会においてホノルル市との友好都市提携に向けた取組の推進を求める決議案を全会一致で可決しました。

議会としては、今後も1日も早い友好都市提携に向け、町と共に積極的な取り組みを進めて参ります。



語学学校「ICCハワイ」



市最大のクリーンセンター「H POWER」



下小橋地内における町道の視察状況



総務建設農政常任委員会では、議案第53号、議案第54号における境町下小橋地内の町道の認定・変更、並びに議案第55号、議案第56号における境町山神町地内の町道の認定・変更について現地視察を行いました。

総務建設農政常任委員会 現地視察



境町消防団によって水防演習が行われました



台風やゲリラ豪雨による災害が起こりうる時期を迎え、二市一町合同水防演習が開催されました。

演習では、境町消防団による日頃より訓練された素晴らしい水防技術が実演されました。

平成30年度二市一町合同 水防演習

教育福祉常任委員会 視察研修

当委員会では、平成28年9月に友好交流都市協定を締結した、佐賀県みやき町を5月20日に訪問させていただき、末安町長の表敬訪問並びに同町の子ども・子育て支援施策について視察研修してまいりました。

みやき町中原庁舎においての表敬訪問では、末安町長、町議会から園田議長、岡副議長、松信総務文教常任委員長、田中民生福祉常任委員長の手厚い歓迎を受け、二町が現在進めている新たな施策等について懇談させていただきました。

みやき町では、平成24年に「子育てするならみやき町」というスローガンを掲げ、様々な施策を進めております。

最初に見学させていただいた「とっこい子育て広場」は、子どもも大人もゆったり、のんびり自分のペースで過ごせる場所とすることを目的に平成25年4月に開設され、主に就園前の子どもと保護者が利用しており、利用料は無料でカフェも併設されております。また、平成29年6月から広場を運

営しているNPO法人「とっこいクラブ」により0～3歳児までの一時預かり事業も開始され、視察当日も5組程度の親子がゆったり過ごされている様子を見学することができました。

次に、今年4月から入居が開始されたPFI方式による戸建賃貸住宅を視察いたしました。この戸建住宅は、空き家・空き地対策と定住促進を目的とし、子育て世代を意識した設計となっており、家賃も6万1千円と周辺相場より2万円程度安く設定されており、PFI方式による戸建住宅にも、子育て世帯支援施策として可能性を感じました。

その他、多世代が集いお茶を飲みながら語り合い学び合う場を目指し運営されている「ティアラ」、四季彩の丘みやきに隣接した、妊娠中や育児中の母親を24時間体制でサポートする「みやき町産前産後サポートステーション」、新たに大型遊具を設置し、町内外を問わず18歳未満の方々が利用できるみやき町児童館「こども未来センター」、災害時の非常用トレーラーハウス等を視察させていただきました。

最後に、みやき町庁舎において末安町長から、独居高齢者をサ

ポートする「MAGOボタン」事業についての説明を受けました。この事業は、「MAGOボタン」という独自の端末を、町内でコールセンター事業を行う【みやきまち】が運営するコールセンターに無線でつなげ、高齢者からの要望を「地域生活支援サポーター」に連絡する体制を構築し、高齢者の日常の困りごとに対応する事業であります。今後、運用開始に向け町内の区長さんや民生委員さんに使用していただき、その後、実際に高齢者の方々に配布し運用していくとのことでありました。

みやき町では、子育て世代の移住が増加したことによる「待機児童問題」等、予期していなかった問題も発生しているとのことであり、今後の対策が必要であるとの話もお聞かせいただきました。

当町においても、移住・定住施策による人口の社会増に向けた事業を継続し、並行して新たに発生する諸問題を見定め、各事業を進めていかなければならないと感じました。

◎広報編集委員会

委員長	岩崎 博
副委員長	飯田 進
委員	須藤 信吉
委員	相良 昌宏
委員	鈴木 英明



PFI戸建て住宅の視察状況



みやき町議会議場